

大牟田市立宮原中学校

1 本校のESDの特徴

本年度より学校再編により新たなスタートを切ることとなった本校区は、大牟田市内でも高齢化率の高い地域であり、「誰もが安心して住めるまちづくり」を目指して様々な取り組みがなされている。

本校生徒も積極的にその取り組みに参加するなど、地域との交流も盛んである。隣接する大牟田特別支援学校とは、昭和56年より年4回の交流を続けている。

また、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつ『三池炭鉱宮原坑』『三池炭鉱専用鉄道敷跡』がそばにあり、世界遺産学習にも取り組んでいる。

このような地域遺産に恵まれた環境において地域と密接につながり、3年間を通して総合的な学習の時間を中心に、『地域と共に生きる学習～福祉・世界遺産学習を軸に～』をテーマに、ESDの視点から「志を持ち、自ら考え行動できる生徒」の育成に取り組んでいる。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学年	福祉にかかわる学習	世界遺産(地域遺産)にかかわる学習	生き方にかかわる学習
	4月 総合的な学習の時間及びESDについてのガイダンス (全校授業)		
1年	特別支援学校との交流 七夕飾り交流・七夕交流 わくわく交流・クリスマス交流 認知症学習 ・絵本教室	世界遺産(地域遺産)について学ぶ ・地域の宝物を知り、広く発信する 「宮原坑」「炭鉱専用鉄道敷跡」	いろいろな職業を知る ・職業調べ ・インタビュー
2年	職場体験 ・福祉施設 ・幼稚園・保育園	世界遺産学習 ・「大牟田の宝」を世界へ発信！ ・京都での自主研修・「大牟田の宝」の広報活動	職場体験 自己の将来を考える 上級学校調べ ・高校の先生の話
3年	独り暮らし高齢者宅訪問 保育実習	世界遺産(地域遺産)から地域の未来を考えよう。 「地域遺産を発信しよう！」 写真展の開催・ユネスコスクール全国大会への参加(公開授業)	適切な自己アピール
生徒会活動	・ユニクロ「服のチカラプロジェクト」…本年度段ボール19箱(1994枚)回収 ・ユネスコ世界寺子屋運動「書きそんじハガキ」回収		
行事 その他	・イングリッシュセミナー「大牟田の宝50を大牟田弁で紹介」の英語版作成 ・認知症SOSネットワーク模擬訓練への参加 ・地域行事への参加(カップ祭り、そうめん流しなど年間5回程度) ・地域の福祉施設へのボランティア(認知症カフェ・年末餅つき) ・地域との協働作業(通学路除草作業年2回・校内や宮原坑の花壇の花植え) ・体育会、合唱コンクールへ地域の方々を招待(福祉施設・高齢者・幼稚園児招待)		

3 特徴的な活動事例

<ボランティア:(3年生を中心に1・2年生も参加)>

①ユニクロ 届けよう「服のチカラプロジェクト」

ポスター・回収Boxを作成し、全校生徒や公民館、地域へ呼びかけて、子供服を回収し、世界中で困っている難民の子どもたちへ送った。子供服「1994枚」を回収。



【服のチカラプロジェクト】

②福祉活動：認知症SOSネットワーク・認知症カフェ・認知症フレンドシップメモリーウォークなどに参加。

認知症の方々と一緒にウォーキングしたり、施設を訪問したり交流を続けている。



【認知症SOSネットワーク訓練】

福祉学習

＜1年：大牟田特別支援学校との交流(年4回)、
3年：独居高齢者宅訪問＞

目標：レクリエーションやプレゼント交換などの交流活動を通して、関わりを深め互いを尊重する心・思いやりの心を育てる。

七夕交流(7月)：1年

大きな笹の竹に大牟田特別支援学校・天の原小学校の生徒と一緒に飾り付けをし、ゲームを楽しんだ。



【七夕交流】

クリスマス交流(12月)：1年

サンタやトナカイの衣装で、クリスマスツリーを飾り一緒に歌ったりゲームをしたり、お互いに手作りのプレゼントを交換して楽しんだ。

一人暮らしの高齢者宅訪問：3年

地域の方々と一緒に一人暮らしの高齢者のお宅を訪問し、プレゼントを渡したり、話をしたりして交流した。

生徒の感想：高齢者の方々の生活や思いを知ることができた。また、地域の人々の心の温かさに触れることができるとても楽しく、学ぶことがたくさんあった。

世界遺産学習

＜世界遺産学習2年：修学旅行、3年：ユネスコスクール全国大会で発表「写真展の開催」＞

目標：京都の世界遺産を学習し、地域の世界遺産のよさに気づき、それらを守り未来につなぐために、自分や地域の将来を考え行動できる。

修学旅行の事前学習：2年

京都の世界遺産について、グループで調べ学習を行い、自主研修のコースを自分達で考え実行した。

世界遺産学習から地域の未来を考える：3年



【世界遺産写真展の開催】

生徒の感想：大牟田をもっと明るく元気なまちにするために、世界遺産「宮原坑」をもっと広く発信し、多くの人々に大牟田に来てほしいと思った。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・地域との「関わり・つながり」が広がり深まったことで、自分達の住む地域に誇りを持ち地域の方々の思いや願いを大切につないでいきたい、もっと私達の大牟田を明るく元気な町にしたい、と自ら考え行動しようとする姿がみられるようになった。
- ・地域行事やボランティアに積極的に参加する生徒が増え、地域の大きな力となっている。

○課題

- ・ユネスコスクールとして他の小・中・高校との交流を深める。
- ・地域と学校との協働をもっと学習に取り入れ、継続していく。